

奈良体育学会会報

第88号 発行 奈良体育学会

事務局：天理大学 体育学部 寺田和史研究室（〒632-0071 天理市田井庄町80）
<https://nspehss.org/> narajimukyoku@nspehss.org

学会大会案内号

奈良体育学会 会員の皆様へ

奈良体育学会会長 中谷敏昭（天理大学）

秋晴れが清々しい季節となりましたが、会員の皆様には新型コロナウイルス感染症予防の生活を続けておられることかと存じます。夏から秋に季節は移りつつありますが、まだまだ我慢が続く秋になりそうです。

新型コロナウイルス感染の第5波とされる拡大が続いておりましたが、緊急事態宣言延長やまん延防止等重点措置の発出により全国の感染者数が減少に転じました。感染された方々、ご家族、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。2020年1月に国内における陽性者が確認されて以来、約1年8ヶ月が過ぎたものの、自粛生活や活動制限、新しい生活様式と呼ばれる感染防止の3つの基本が叫ばれています。最近では、この生活様式を「普通」だと感じる今日この頃です。

さて、昨年度の奈良体育学会大会は、学会始まって以来の「Web開催」となり、シンポジウム「新型コロナウイルス感染症の影響下における体育・スポーツのあり方について考える」では、オンデマンドで閲覧していただく方法をとりました。また、一般研究発表もポスターとなり、研究内容の説明や質疑応答がなく寂しく感じております。そのため、本年度の学会大会では対面開催を前提に準備をすすめ、顔を見合わせて研究討議を行うという以前の方法を計画しております。しかしながら、12月中旬の開催でもあり、過去の感染拡大の波を考えるとWeb開催の可能性も否定できません。その場合は、Zoomを利用したリアルタイム方式にて開催する予定です。学会大会の詳細は次号で案内させていただきます。

自粛生活やテレワークによる運動不足は体重の増加だけでなく、生活習慣病リスクを増やします。「頭では分かっているが、なかなか運動できない」と多くの方が悩んでおられます。このような時だからこそ、悩み苦しんでおられる方々に、運動やスポーツが有する多様な楽しみ方を伝える智慧の創出や方法を提案し続けることが奈良体育学会に課せられた役割であると思います。多くの会員が学会大会に参加され、これらについて議論できることが大きな力となります。お忙しいかと存じますが、会員の皆様には奮ってご参加いただければ幸いです。

訃報

本年4月11日に中谷昭先生がご逝去されました。また、4月20日には河瀬雅夫先生がご逝去されました。

先生方におかれましては、其々、奈良教育大学、天理大学での研究・教育をはじめとした多方面での活躍はもとより、奈良体育学会役員としても本会の発展に多大なるご貢献をいただきました。

ここにご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

令和3年度奈良体育学会大会に関するお知らせ

令和3年度奈良体育学会大会につきましては、緊急事態宣言等による行動制限が10月初旬時点で全国的に解除されたことを受け、**今のところ現地（対面形式）での開催**を予定しております。一方で、依然、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中でもあることから、**状況が変化した場合にはオンライン開催に切り替えるまたは開催中止の可能性のあることもご承知おきください**。開催方法変更のお知らせは、会報及び奈良体育学会HPで行います。

<開催要領>

期 日：令和3年12月19日（日）

会 場：天理大学 体育学部キャンパス 6号棟4階・64C教室（奈良県天理市田井庄町80）

時 程：12:00～ 受付 12:30～ 総会、一般発表、シンポジウム

※演題数等により時間変更や会場追加の可能性があります。午前中から行う場合もあります。

※今年度は、懇親会は行いません。

<一般発表>

一般発表はすべてパワーポイント（スライド）による口頭発表とします。なお、新型コロナウイルス感染拡大状況により、遠隔会議システム（Zoomを予定）によるオンライン・リアルタイムでの口頭発表に変更する可能性があります。その場合、発表内容を収録し、参加申込者限定で一定期間オンデマンド配信する予定です。

<シンポジウム> ※内容には未定の部分があります。

テーマ：「奈良県における地域スポーツのこれから——学校と地域連携の課題と可能性」

趣 旨：2021年夏、コロナ禍で一年延期された東京オリンピック・パラリンピック競技大会が、さまざまな賛否をめぐる議論の中で開催された。1964年の東京大会がそうであったように、スポーツメガイベントの開催はトップアスリートの競技環境を向上させるのみではなく、一般の人びとのスポーツ欲求を高め、地域におけるスポーツ環境の見直しへと結びつく可能性を有している。加えて、スポーツ立国戦略やスポーツ基本計画などに記されるように、アスリートと地域スポーツとの関係性構築はオリパラ大会後の喫緊の課題となりうる。しかしながら、コロナ禍での大会開催や準備過程での混乱もあって、議論は全く広がりを見せていない。

このように先行きが不透明な中、学校における働き方改革を検討してきた「学校における働き方改革推進本部」が、オリパラ大会のレガシーとして、持続可能な学校部活動の促進のための改革案を提案している。そこでは2023年度以降、休日の部活動は段階的に地域に移行することが目指され、そのための地域人材の確保や保護者による費用負担などが方策として掲げられている。すなわち、教員の働き改革の文脈で、地域と学校の連携が急速に解決すべき課題として浮上してきた。

そこで、本シンポジウムでは、奈良県におけるスポーツにかかわる資源を確認しながら、地域クラブや学校を含んだ連携がどのように構築できるのかについて、その課題と可能性の両方を見据えた議論を行いたい。

シンポジスト：

高橋豪仁（奈良教育大学）

「大学、地域のスポーツクラブ、民間組織との連携について——バルシューレプログラムの展開を事例に」

大内淳也（奈良女子大学中等教育学校）

「高等学校における部活動改革と地域の連携について」

太田雅夫（天理大学）

「スポーツクラブからみた地域の連携について——水泳競技を事例に」

コーディネーター：

石坂友司（奈良女子大学）

以上敬称略

<参加申込・発表申込>

「一般発表」申込期限：令和3年11月12日（金）17:00

「事前参加」申込期限：令和3年12月13日（月）17:00 ※当日参加も受け付けます。

※万が一、オンライン開催に変更となった場合には、事前参加申し込みが必須となります。

「一般発表」申込方法：奈良体育学会 HP の申込フォームよりご登録ください。一般発表の申込をされた方は、必ず併せて事前参加申込も行ってください。

「事前参加」申込方法：奈良体育学会 HP の申込フォームよりご登録ください。万が一、オンライン開催となった場合、参加費の振込が確認できた方には、開催日までに電子メールにて参加方法についてのご案内をお送りします。総会議事についても、参加申込者によるオンライン投票での議決とします。

学会大会申し込み（参加・発表）ページ：<https://nspehss.org/taikai/taikaiform>

令和3年度奈良体育学会大会専用メールアドレス(学会事務局)：2021taikai@nspehss.org

参加費：一般会員・名誉会員 1,000 円、学生(大学院生)会員 500 円、学部生無料です。事前参加申込をされた方は、申込と同時に下記口座にお振込みください。※当日参加も受け付けますが、出来るだけ事前に参加申込をしてください。

郵便振替・口座番号：01000-2-28169 加入者名：奈良体育学会

<発表申込様式など>

*研究発表をされる方(筆頭演者)は奈良体育学会会員(一般・学生)に限ります。共同発表者には会員資格は必要ありません。筆頭演者にあられる方は、必ず参加費をお支払ください。共同演者の方の参加費の支払いは必要ありません。

*奈良体育学会 HP の申込フォームよりご登録ください。

*発表された方は、下記の「研究年報原稿依頼」の要領で、研究年報に抄録の投稿をお願いします(必須)。また、可能な限り発表内容の「誌上発表論文」へも投稿をお願いします。

<学生・若手研究奨励賞>

学会大会では、平成30年度より学生および若手研究者の研究を奨励することを目的として、学生・若手研究奨励賞を設けています。学会大会において行われた一般研究発表を審査対象とし、対象者は、大学院、学部所属する学生・研究生の正会員、または年齢が30歳以下の正会員で、当該発表のファースト・オーサーとなっています。学部生、大学院生、その他条件に該当する若手研究者の皆様の積極的な発表申込をお願いします。

<プログラム詳細・大会要項など>

詳細なプログラムの内容や学会大会要項等につきましては、学会 HP 及び次回会報でご案内致します。

【研究年報への原稿投稿のご依頼】

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。学会大会で発表していない論文も、「誌上発表論文」として掲載します。なお、筆頭著者は奈良体育学会会員資格(一般会員・学生会員)を持つ者に限ります。

なお、財政上の理由で、昨年度より研究年報の冊子での配布は取りやめることになりました。研究年報は学会 HP にアップロードしますので、会員の皆様にはそちらからダウンロードしていただくようお願い致します。また、研究年報巻末に記載の学会活動(会報)、会則、内規等につきましても、今後は学会 HP にて閲覧していただく予定です。

締 切：令和 4 年 1 月 28 日(金)17 時

提出先：電子メール(添付ファイル)による。

奈良体育学会事務局 天理大学体育学部 寺田和史宛 (E-mail: terada@sta.tenri-u.ac.jp)

<誌上発表論文書式>

*A4 用紙、40 字×40 行、一段組、図表ともで 4~6 枚、上下左右の余白を 20mm としてください。

(詳細は過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。)

*原稿は Word とそれを PDF 形式で保存した 2 種類のファイル(Word と PDF)にてご提出ください。原稿は、モノクロでご作成ください。また、原則として PDF ファイルに表示されている内容がそのまま年報に掲載されますので、ご提出の前に必ず体裁等をご確認ください。カラー表示が必要な方につきましては、PDF 版においてはカラーでの掲載が可能ですが、国立国会図書館等に収蔵する冊子版については原則としてグレースケールでの掲載となりますので、ご承知おきください。論文等は、奈良体育学会研究年報投稿規定ならびに体育学研究(日本体育・スポーツ・健康学会)投稿規定・投稿の手引きに準じてご作成ください。学生・大学院生の方は、必ず指導担当教員等の指導を受けてから投稿して下さい。

<発表抄録書式(今年度の大会発表者用)>

用紙 A4 で 1 枚(図表込み)、本文は 2 段組でお願いします。文字フォントは、タイトル 14 ポイント、氏名・所属 11 ポイント、本文は 9 ポイントで記載をお願いします。また、キーワード(9 ポイント)を所属と本文の間に 3 語で入れてください。なお、原稿作成見本および詳細は下記の URL にあります。その他の原稿の様式、提出方法、提出ファイルの種類等は<誌上発表論文書式>と同様です。

奈良体育学会研究年報用抄録フォーマット：<https://nspehss.org/kenkyu-nenpo>

理事会報告

I. 令和3年度奈良体育学会第1回理事会議事録

日時：2021年5月18日（金）18:30～20:10

場所：遠隔会議システム（Zoom使用）にて開催

出席：中谷敏昭(会長)、星野聡子(副会長)、寺田和史(理事長・庶務)、石坂友司(理事)、井上邦子(理事)、笠次良爾(理事)、白石晃(理事・会計)、及び会計監査として北澤太野(会計に関わる箇所のみ出席)(順不同・敬称略)

○報告事項

1. 会員の動向

2021年3月31日現在：会員110名（内、奈良体育学会のみ10名）、名誉会員6名
入会・転入者（2020年度）

- ・日本体育・スポーツ・健康学会会員であって奈良地域に新規登録または転入した者（4名）
熊天宇、長谷部楓美、小野夏純、三浦舞子
- ・日本体育・スポーツ・健康学会非会員であって奈良体育学会へ新規入会した者（5名）
横田早香、中村倭菜、國井洸樹、仲井志文、小山圭一郎

退会・転出者（2020年度）

- ・事務局に退会連絡のあった者（7名）
王思涵、松田正昭、森田晃充、西田裕之、高木祐介、浦井善宏、池田憲昭
- ・退会扱い（2年以上会費未納）の者（19名）
阿辺山稜、生野勝彦、石指宏通、乾順紀、歌川好夫、大谷味加、大庭貴如、小川真奈、甲斐呈子、河本健太郎、小松英喜、嶋田健男、馬場崇豪、森谷公亮、柳田孝太、今井美華、山本晴基、軽米克尊、三宅庸平

2. その他

なし

○審議事項

1. 令和2年度活動報告

(1) 奈良体育学会会報発行

第86号：学会大会案内号

第87号：学会大会プログラム号

(2) 令和2年度奈良体育学会総会・学会大会

期日：令和2年11月21日（土）～11月27日（金）

場所：Web開催（奈良体育学会ホームページ上）

参加者：32名（学会員29名、会員外3名）

(3) 奈良体育学会研究年報第25号発行（2021.03）

(4) 奈良体育学会ホームページ開設・運用スタート

以上について承認された。

2. 令和2年度決算(案)
 下記原案通り承認された。

2020(令和2)年度 奈良体育学会決算報告

R3.3.31
 (単位 円)

<収入>

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会費	169,500	163,500	6,000	109名分
補助金	70,000	70,000	0	本部より
学会大会参加費	23,000	25,500	△ 2,500	一般19名(1000円)、大学院生13名(500円)
雑収入(返納金)	0	13,200	△ 13,200	
利子	0	0	0	
当期収入合計	262,500	272,200	△ 9,700	
前年度繰越金	197,572	197,572	0	
合計	460,072	469,772	△ 9,700	

<支出>

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会議費	20,000	0	20,000	
事務費	10,000	136,026	△ 126,026	
通信費	80,000	24,108	55,892	
学会大会・例会費	80,000	0	80,000	
研究年報作成費	150,000	31,523	118,477	
アルバイト料	20,000	0	20,000	
講演謝礼	30,000	50,000	△ 20,000	
予備費	70,072	0	70,072	
当期支出合計	460,072	241,657	218,415	
次年度繰越金	0	228,115	△ 228,115	
合計	460,072	469,772	△ 9,700	

2020(令和2)年度 奈良体育学会基金報告書

R3.3.31
 (単位 円)

前年度繰越金	収入		支出	現在高	備考
	積立金	利息			
300,000	0	0	0	300,000	R3.3.31現在高

2021年4月27日
 会計監査の結果、適切に処理されていることを認めます。

山本大輔 (印)

2021年4月27日
 会計監査の結果、適切に処理されていることを認めます。

北澤 平野 (印)

3. 令和3年度事業計画（案）

(1) 奈良体育学会会報発行

第88号（令和3年度学会大会案内号）

第89号（令和3年度学会大会プログラム号）

(2) 令和3年度奈良体育学会総会・学会大会

(3) 奈良体育学会研究年報第26号発行

(4) 次期役員選挙

(5) その他

次年度以降、若手研究者支援などの取り組みについて議論する。

以上の各計画の実施について承認された。

4. 令和3年度予算（案）

下記原案通り承認された。なお、今年度予定されている定額貯金（基金）の満期払い戻し分¥150,000については、利子を含めて今年度の雑収入として計上し、支出として再び¥150,000を定額貯金とする予定となった。

令和3年度 奈良体育学会 予算案

[一般会計]

<収入>

前年度繰越金	¥228,115
会費	¥163,500 R2年度会費納入金額相当
補助金	¥70,000 本部に申請中(助成見込み額、申請は9万円)
大会参加費	¥25,500 R2年度学会大会参加費金額（一般1000円，学生500円）相当
雑収入	¥0
利子	¥0
合計	¥487,115

<支出>

会議費	¥20,000
事務費	¥50,000 HP管理運営費含む
通信費	¥80,000 役員選挙のための通信費含む
学会大会・例会費	¥80,000
研究年報作成費	¥70,000
アルバイト料	¥20,000
講演謝礼	¥50,000
予備費	¥117,115
合計	¥487,115

5. 令和3年度の学会大会・総会について

・開催期日等については、例年の開催時期である11月末～12月初めを念頭に、理事のスケジュールを考慮の上、次回以降の理事会で審議する。なお、例年通り、奈良女子大学・フォローアップ事業との共催とする。

・対面開催あるいはWeb開催で実施し、どちらの開催形式を採用するかについては7月末～8月中旬をめどに決定する。対面開催の場合は、奈良女子大学を会場とする。Web開催の場合は奈良体育学会HP上で開催する。発表形式については、一般発表、シンポジウム共にWeb会議システムによるリアルタイムによる口頭発表とする。シンポジウムについてはその内容を収録し、大会参加者及び上記フォローアップ事業参加者を対象に一定期間の配信による視聴を可とする。

・シンポジウムのテーマとして「(東京)オリンピック開催に対する考え方」を扱うものとする。テーマやシンポジスト、座長等については今後の理事会で決定する。

6. 会報の発行と会員との連絡手段について

今後、会報については従来通り紙媒体で発行・郵送する。重要性の低い随時の連絡等は電子メールを活用する。

7. 研究年報の発行について

今後はPDFのみによる発行とし、会員には奈良体育学会HPで閲覧する権利を与える。

8. 次期役員選挙の方法について

今年度内に実施する役員選挙については、はがき或いは封書で案内し、前回の役員選挙の投票方法に倣い、Webでの投票による方法とする。Webでの投票が困難な会員に対しては、暫くは事務局へ連絡することで郵送での投票が可能となるよう配慮する。

9. 学会HPの運用について

昨年度に引き続き、主に石坂理事に運用作業を行ってもらう。

10. 会計幹事の交代

本年9月より白石会計幹事が遠方での職務にあたることとなったため、寺田庶務幹事が会計幹事を兼任する。

11. 次回 理事会開催日

期日は令和3年7月14日～20日の間で、開始時刻18:30、Web会議により実施する。電子メールにより理事間で開催日時の調整を行う。

12. その他

名誉会員資格について意見交換を行った。また、会員への訃報について意見交換を行った。

以上

II. 令和3年度奈良体育学会第2回理事会議事録

日時：2021年7月19日(月)19:00～20:30

場所：遠隔会議システム(Zoom使用)及び電子メールにて開催

出席：中谷敏昭(会長)、星野聡子(副会長)、寺田和史(理事長・庶務)、石坂友司(理事)、井上邦子(理事)、笠次良爾(理事)、白石晃(理事・会計)(順不同・敬称略)

○報告事項

なし

○審議事項

1. 選挙細則の改正について

Web投票の本格実施に伴い、奈良体育学会選挙細則第4条について、下記のとおり改正した。

旧)選挙は郵送により行い、締切日の消印をもって有効とする。

新)選挙は郵送またはWebにより行い、郵送による場合は選挙管理委員会が定めた締切日の消印をもって有効とする。Webによる場合は選挙管理委員会が定めた締切日時までに行われた投票を有効とする。

2. 名誉会員資格について

有職者の停年が65歳前後となっていることもあり、現在のところ70歳以上となっている名誉会員資格(奈良体育学会会則第23条)の変更(資格年齢の引き下げ)について審議した。その結果、日本体育・スポーツ・健康学会の規程と合わせておいた方が良くという結論となり、現行通りとすることとなった。

3. 物故者について

奈良体育学会理事会の申し合わせ事項として、今年度より、奈良体育学会会員の物故者のうち、名誉会員、会長、副会長あるいは理事長経験者、または奈良体育学会の発展に顕著な貢献をしたと理事会が認めた者については、会報に訃報を掲載することとなった。

4. 学会大会の内容について

遠隔会議システムによる審議の時間内では決定することができなかつたため、その後、メール審議に持ち越して議論を重ねた結果、先ずシンポジウムの内容については前回理事会で打ち出された方針の「(東京)オリンピック開催に対する考え方」とはせず、以下の内容に変更して実施することとなった。

テーマ：奈良県における地域スポーツのこれから——学校と地域連携の課題と可能性

シンポジスト：

高橋豪仁氏（奈良教育大学）

「地域における大学、地域、企業との連携について——バルシューレプログラムの展開を事例に」

大内淳也氏（奈良女子大学中等教育学校）

「高等学校における部活動改革と地域の連携について」

太田雅夫氏（天理大学）

「スポーツクラブからみた地域の連携について——水泳競技を事例に」

コーディネーター：

石坂友司氏（奈良女子大学）

また、現地（対面形式）での開催とし、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況が変化した場合にはオンライン開催に切り替えるまたは開催中止を考えることとした。仮にオンライン開催となった場合も、共催となっている奈良女子大学・フォローアップ事業の参加者に対しては、オンデマンド等の方法によりシンポジウムの内容を提供する機会を設ける。開催期日、会場等については、以下のとおりとした。

期 日：令和3年12月19日（日）

会 場：天理大学 体育学部キャンパス 6号棟4階・64C教室（奈良県天理市田井庄町80）

時 程：12:00～ 受付

12:30～ 総会、一般発表、シンポジウム

5. 役員選挙の実施方法について

前事務局の協力を得て、年度末にWeb投票による役員選挙を行うこととした。なお、投票の案内については郵送にて行う。

6. 会則記載事項の追記及び文言の修正について

会計幹事の交代について、会則に追記することとした。また、会則の文言に見受けられた誤字・脱字についても修正することとした。

以上

会員の皆様へのお知らせ【重要】

※本年度以降の会報の発行について

学会 HP の運用が始まったことや、学会運営経費の削減のため、今後の会報の配布や学会事務局からの随時のお知らせは、順次、電子メールによる配信に移行させていただくことを考えています。その場合、日本体育・スポーツ・健康学会に所属されている方につきましては、そちらに届け出されているメールアドレスに送信いたします。

現時点でこちらがメールアドレスを把握している方につきましては、郵送と同時に電子メールによる会報の配布も行っています。電子メールにより会報が届いていない方や、奈良体育学会のみの会員の方でまだメールアドレスをお届けいただけていない方につきましては、別途、学会 HP から、または直接、学会事務局 (narajimukyoku@nspehss.org) まで、メールアドレス登録のご連絡をお願いいたします。

※今年度からの研究年報の発行について

研究年報冊子の印刷配布につきましては、長年、学会運営における必要経費の大きな部分を占めており、また近年の継続的な学会運営経費の逼迫をもたらす原因となっていたこと、および学会 HP 開設に伴う予算使用により費用が不足することから、今年度から配布を行わないこととさせていただきました。会員の皆さまのご理解とご協力をいただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。

※ 日本体育・スポーツ・健康学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ

令和 3 年度の年度会費 1,500 円をお納め下さい。2 年続けて年会費を納入しない正会員は退会とさせていただきます。

【年会費振込先】 郵便振替 口座番号 01000-2-28169
加入者名 奈良体育学会